

アスタリール 「機能性」に認証マーク 壁超えて実現 商品選択の幅広がる

機能性表示食品のパッケージにI.C.認証マークを表示する。実は非常に難しかったをんな試みを、天然アスタキサンチンを世界各国に販売するアスタリールが今夏、初めて実現させた。アンチドーピングの観点からも安心・安全な

商品で、アスリートが機能性表示食品の中から選択できる道を開いたことになる。同社は天然アスタキサンチンを配合したサプリメント「アスタビータe」の2製品で、I.C.認証を取得している。う

ち前者は、同社が17年6月までにアスタキサンチンを機能性関与成分にした機能性表示食品として届け出たものだ。その後今年1月に「スポーツ」とともに認証を取得。現在においてもアンチドーピング認証を取得した唯一の機能

I.C.認証マークを表示する初の機能性表示食品「アスタビータe」



性表示食品となっている。

パッケージにI.C.認証マークを表示した。そのための変更

少数だとしても、世界中の人々にはアスリートも当然含まれる。富永部長はこう語る。

その上で機能性表示食品の「e」の

アスタビータeのヘルスクレームは、「日常生活における仕事や勉強などのデスクワークと運動の両方の組み合わせによって生じる一過性の疲労感の軽減」。一見するとアスリートに必要なのか疑問も感じる機能性だが、「最近のアスリートは体調管理などのために色いろとサプリメントを摂っているが、精神的な疲れにも気遣っている。そこもパフォーマンスにかかわってくるのだろう」と同社の富永久美研究開発部長は話す。

とはいえ、「アスタビータスポーツ」は別だが、元々一般消費者向けに開発したもので、なぜI.C.認証を取得したのか。

「当初は『スポーツ』だけを考えていたが、『e』も併せて利用しているアスリートが存在した。ならば両方で取得してしまおうと。アスリートが選択できる幅が広がると幸せを届ける」という当社のミッションにも合致する。

アンチドーピングは一般消費者とは無関係な世界。しかし富永部長は「一般の中にもアスリートはいる。情報量の面など、全てのアスリートが恵まれた環境で活動できているわけではない」と指摘。また、定期的な第三者分析を必須とするI.C.認証は、一般生活者に対して「品質の高さをアピールする材料になる」と同認証マークを表示する意義を強調した。

なお、アスタリールは天然アスタキサンチンの原材料供給も手掛ける。今後、原材料としてのI.C.認証取得も検討していく方向だ。